

# 令和6年度 大阪府立大冠高等学校 第1回 学校運営協議会（記録）

令和6年7月4日(木)16時  
本校校長室（会議）

## 次第

### 1 配付資料の確認 等

1-1 校長挨拶

1-2 委員および事務局の紹介（自己紹介）

### ☆運営協議会委員

	お名前	ご所属	出欠
1	西村 孝彦	関西外国語大学 英語国際学部 教授	出席
2	宮崎 義之	高槻市立第十中学校 校長	出席
3	尾村 麻由美	コーチングラボ Coco Style 代表	出席
4	深串 有里	高槻市民生児童委員	出席
5	土井原 美智子	大冠高等学校 冠友会 会長	出席
6	笹川 直美	大冠高等学校 PTA 会長	出席

### 2 第1部 報告 進行：教頭

2-1 令和6年度学校経営計画の概要及び実施状況（校長より）

2-2 質疑応答

<委員より>

●デジタル採点が進んでいるが、予算はどうなっているか。

A：府立全校でシステムを導入しているので、府教育庁での予算措置である。

●近隣から登校時間帯に並走などの危ない自転車運転を見かけると聞く。

A：日頃から粘り強く指導するとともに、12月には、スケアードストレイト教育技法を活用した交通安全教室を予定している。

スタントマンによる実演があり、危険な場面を実際に見て、指摘していただき、交通マナーの向上に努める。

### 3 第2部 協議 進行：会長

3-1 教科書選定について

3-2 協議委員から学校への提言

<委員より>

●デジタル化がさらに進んでいると感じる。先生方の苦勞が窺える。

●スタントマンによる実演がある安全指導と聞き、リアリティがあり、興味を高めることの効果は今後どうなるか気になる。

●国際交流の語学研修において、英会話レッスンを事前にする丁寧さがよい。スモールステップで積み上げていくことは大切である。

●部活動が縮小傾向である一方、体育祭などの学校行事が盛り上がり、どのような生徒かが気になる。

A：短期的な体育祭は盛り上がり、楽しめるが、部活動など長期的なものにつながりにくい状況である。

●学校行事が盛り上がっている、学習状況につながっているという好状況

- 学校生活になじめない生徒が2年生で10人とあり、他学年の状況などは？  
A：2・3年はクラス替えにより、前のクラスが良かった、などの不満をもつ生徒が多い。3年は4月からの応援団の取組みで収束するが、2年は年度当初に学年全体でクラス集団作りを行い、一定成果があった。
- DX加速化事業で環境整備を進めているとあり、大冠の広がりを感じる。  
個別最適な学びと、協働的な学びの両方を意識しており、集団になじめない生徒が自分らしく考えることを大切にする工夫がみられる。
- 3年生の3つのテーマに「積極的」とあり、みんなが積極的に向かっている姿が現れている。そして、学年目標に「価値ある高校生活を」とあり、これこそ高校生の姿かと思われる。

#### 4 諸連絡 等

##### 4-1 第2回の日程

10月中旬～下旬

できれば授業見学も設定させていただく

##### 4-2 その他